

読売新聞西部本社発刊45周年記念

読売日響名曲シリーズ

45th
西部
発刊

読売新聞

アクロス現代日本のオーケストラ

管弦楽:読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, Tokyo



© 浦野俊之

2009

12/8 火曜日
午後7:00開演
午後6:30開場

アクロス福岡シンフォニーホール

●お問い合わせ・お申し込み

アクロス福岡チケットセンター092-725-9112

〈チケット取扱所〉

アクロス福岡チケットセンター(2F)092-725-9112

福岡音楽文化協会 092-414-8306 (受付時間 月~金曜日9:30~17:30)

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:329-805)

ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード:83803)

指揮:下野 竜也

(読売日響正指揮者)

Conductor: Tatsuya Shimono

モーツァルト

歌劇〈フィガロの結婚〉序曲

Mozart/ "Le Nozze di Figaro" Overture

モーツァルト

ピアノ協奏曲第24番 ハ短調 K.491

Mozart/Piano Concerto No.24 in C minor, K.491

ブルックナー

交響曲第4番 変ホ長調 WAB.104

〈ロマンティック〉

Bruckner/Symphony No.4 in E flat major, WAB.104 "Romantic"



ピアノ:河村 尚子

Piano: Hisako Kawamura

S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 学生席¥1,500

(全席指定・消費税込み) ※7月21日(火)発売開始

〈主催〉読売新聞社、FBS福岡放送、読売日本交響楽団 〈共催〉財団法人アクロス福岡

〈特別協力〉北九州・筑豊音楽・福岡東部・福岡西部・福岡南部・筑後・山口西部・佐賀県各読売会 〈協力〉福岡音楽文化協会

◆小学校入学前のお子様のご入場はできません。◆都合により演奏者及び曲目が変更になる場合がありますので予めご了承ください。◆本公演は、託児サービスがございます。詳しくはチラシ裏面をご覧ください。

感謝。そして感動へ
アクロス福岡
ANNIVERSARY
15th

下野 竜也 (指揮)

Tatsuya Shimono,
Conductor

2006年11月、読売日響初代「正指揮者」に就任。

1969年鹿児島市生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。96年にはイタリア・シエナのキジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを取得。97年から99年まで大阪フィル指揮研究員として、故朝比奈隆氏の薫陶を受ける。99年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、同年9月よりウィーン国立音楽大学に留学、その後も01年6月まで在籍。

秋山和慶、黒岩英臣、石井調、広上淳一、チョン・ミョンフン、ユーリ・テミルカーノフ、レオポルド・ハーガー、湯浅勇治、エルヴィン・アツェルの各氏に師事。

2000年第12回東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝と齋藤秀雄賞の受賞、01年9月におこなわれた第47回ブザンソン国際指揮者コンクール優勝で、一躍脚光を浴びた。以降、国内の主要オーケストラへの度重なる客演に加えて、国外でもストラスブル・フィル、ボルドー管、ウィーン室内管、パドゥルー管、ロワール管、ミラノ・ジュゼッパ・ヴェルディ響、ローマ・サンタ・チェチーリア管などに客演、その多くは再演へと発展している。

下野竜也の指揮活動の根底には、デビューしてから一貫して持ち続ける「楽譜に忠実に。作曲家の意図するところをどこまで汲み取り、素直に表出できるか」との思いがある。レパートリーはドイツ・ロマン派の作品を核にしながらも多岐にわたり、特に現代作品の分野では、ジョージ・ベンジャミン氏、松平頼曉氏ら前衛作曲家からその手腕が高く評価されている。

読売日響とは《下野竜也・ドヴォルザーク交響曲シリーズ》や《下野プロデュース・ヒンデミット・プログラム》を中心に意欲的な活動を展開し、大きな注目を集めている。

02年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、06年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、07年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞をそれぞれ受賞している。

読売日響との初ライブCD「バッハ/齋藤秀雄:シャコンヌ、コリアーノ:交響曲第1番」も高い評価を得ている。

07年4月より上野学園大学音楽文化学部教授も務めている。



©浦野俊之

河村 尚子 (ピアノ)

Hisako Kawamura,
Piano

5歳で渡独。ハノーファー国立音楽芸術大学在学中にヴィオッティ、カサグランデ、ゲザ・アングなど数々のコンクールで優勝・入賞を重ねる。2006年、権威ある難関ミュンヘン国際コンクール第2位、続いて2007年、多くの名ピアニストを輩出しているクララ・ハスキル国際コンクールにて優勝を飾り、世界の注目をあびる。

ドイツを拠点に、オーストリア、スイス、イタリア、フランス、ポーランド、チェコ、ロシアなどで積極的にリサイタルを行い、オーケストラの共演については、チューリヒ・トーンハレ管、バイエルン放響、モスクワ・ヴィルトゥオーゾ、スロヴェニア・フィルのソリストに迎えられ、ルール、オーヴェール・シュル・オアーズ、国内ではラ・フォル・ジュルネ音楽祭に参加するなど、早くも国際的な活動を広げている。

日本においては、2004年11月小林研一郎指揮/東京フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会でデビューして以来、各地主要オーケストラと相次いで共演を重ね、いずれも好評を得る。

2009年3月、RCA Red Sealレーベルへのデビュー盤となる「夜想~ショパンの世界」を発売。また仏ディスコヴェールと独アウディーテから2枚のアルバムが発売されている。

これまで、ウラディーミル・クライネフ、澤野京子、マウゴルジャータ・バートル・シュライバーに師事。現在、ハノーファー国立音楽芸術大学ソリスト課程に在籍。兵庫県西宮生まれ。

オフィシャル・ホームページ

<http://www.hisakokawamura.com/>



読売日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, Tokyo

読売日本交響楽団は1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビの読売グループ3社を母体に設立された。翌63年にはハチャトゥリアン指揮・コーガンのヴァイオリン独奏で公演を行い、また65年にはブリテン〈戦争レクイエム〉を日本初演するなど、設立当初から話題を呼んだ。創立以来、ストコフスキー、メータ、ヴァント、チェリビダッケ、マゼール、ロストロポーヴィチ、サンティ、ベルティーニ、テミルカーノフ、ホーネック、ゲルギエフといった世界的な巨匠を指揮台に招くとともに、ルービンシュタイン、リヒテル、アルゲリッチ、内田光子、ヨーヨー・マ、五嶋みどりら世界の名だたるソリストと共演を重ねている。

現在、定期演奏会を軸に名曲シリーズなど5つのシリーズを揃え、最先端のプログラムから聴きやすい名曲プログラムまで、充実した内容で聴衆を魅了している。特に、スクロヴァチェフスキによるブルックナーやブラームス、シューマンの交響曲サイクルや、下野竜也によるドヴォルザークやヒンデミットのシリーズは高く評価されている。また、2007年度より東京芸術劇場と提携し、同劇場主催のシアターオペラやファミリーコンサートなどに度々出演、好評を博している。

新作の委嘱にも積極的に取り組み、三善晃〈アン・ソワ・ロワタン〉、

武満徹〈トゥイル・バイトワライト〉などの名曲を生んできた。また01年以来、毎年、新作を委嘱する「読売日響 委嘱シリーズ」を続け、細川俊夫の作品をはじめ多くの作品が作曲賞を受賞するなど、作曲界の発展にも寄与している。

海外では、67年の北米公演をはじめ、71年から03年にかけて計6回、欧州各国で公演。96年にタイ、97年に中国(北京)を訪れている。81年にライプツィヒ第1回国際オーケストラ・フェスティバルに参加。00年にはアジア代表としてスペイン・カナリア諸島音楽祭に招かれ、さらに日本のオーケストラとして初めてザルツブルク祝祭大劇場のシリーズに出演した。

68年、若杉弘指揮のペンデレツキ〈ルカ受難曲〉の日本初演が芸術祭賞に輝いたのをはじめ、00年にはグルリット〈ヴォツェック〉が芸術祭優秀賞を、04年のヤナーチェク〈運命〉が佐川吉男賞を受賞するなど、受賞歴多数。最近では、08年の第475回定期演奏会《下野竜也プロデュース・ヒンデミット・プログラムII》が芸術祭優秀賞に輝いたことが記憶に新しい。

なお、定期演奏会などの様子は日本テレビ「読響Symphonic Live〜深夜の音楽会」で放送されているほか、インターネットの「第2日本テレビ」でも動画配信され、好評を得ている。

託児サービスのご案内

託児サービス(生後4ヶ月から小学校入学前のお子様)をご希望の方は、チケットご購入の後、下記にお申し込みください。受付は公演前日(土・日・祝日は受付を行いません)までですが、定員になり次第締め切らせていただくことがあります。

(株)テノ・コーポレーション(月~金曜日9:00~18:00)

☎ 0120-8000-29 tel.092-263-8040 なお、託児料の一部としてお子様一人につき1,000円(消費税込)をご負担いただきます。